



公立大学法人

北九州市立大学 学報

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU INFORMATION SEIRAN

青嵐

第9号
SUMMER

9月29日(土) 秋季
オープンキャンパス
開催!

午前10時から
北方キャンパスにて

(詳しくは公式サイトをご覧ください)



【オープンキャンパス学生スタッフ】

昨年度大活躍の学生スタッフが今年度も北方キャンパスで開催されたオープンキャンパス2007で企画に、広報に、運営に大活躍!! その他、多くの在学生在が当日各学部の企画やキャンパスツアーなどいろんな場でフル回転の活躍。来年度の活躍もお約束します。
(詳細はP.6をご覧ください)



CONTENTS

特集

平成20・21年度学部学科等再編
北九州市立大学平成19年度計画

1

TOPICS

平成18年度卒業生就職状況
進路指導担当者懇談会実施結果
ガイダンス In 鹿児島2007
オープンキャンパス2007

4

話題の学生

第6回漢語橋世界大会中国語コンテスト
ヘラルド朝日コンテスト入賞
ラグビー部創部60周年

6

お知らせ

学生プラザの開設について
はしかへの対応
人事

7

会議等

9

お勧めの本

阿南惟正理事長『女性の品格』

北方サロン

10

こらむ

学生課 学生相談室

入試広報 REPORT

11

題字：阿南 惟正 理事長筆

国際環境工学部学科再編ならびに研究科新専攻の設置

平成13年4月、本学初の理系学部として、ひびきのキャンパスに国際環境工学部が開設されました。

その後、平成15年4月に大学院国際環境工学研究科を設置するなど教育研究体制を整備拡充し、環境分野における技術開発、国際的に活躍できる人材育成とともに、北九州学術研究都市の中核大学として、地域産業の活性化や市民生活の向上に貢献するという使命を果たしてきました。

現在、地球上では地球温暖化など環境問題が切実な問題となっており、特に経済発展著しいアジア地域においては、エネルギーの有効利用、資源の循環利用、環境保全技術の開発やこれらの技術を有効に活用する社会システムの構築などが緊急の課題です。これらの課題の解決に関して、環境先進都市である北九州市並びに優れた教育研究実績をもつ本学に対する国内外からの期待は非常に高まっています。

ひびきのキャンパスでは、教育研究体制の一層の充実により、これら時代の要請により積極的に応えていくため、平成20年4月に学科の再編及び新専攻の設置を行うこととしました。

また、学科再編及び新専攻設置にあわせ、既存学科の名称変更や入学定員の変更なども実施します。

エネルギー循環化学科、環境生命工学科を新設します

「環境化学プロセス工学科」は、新たな教育研究分野と教員を拡充し、2つの新しい学科に生まれ変わります。「エネルギー循環化学科」では、化学をベースに、クリーンエネルギーや環境保全、資源の循環利用などに取り組みます。「環境生命工学科」では、生物及び生態系のもつ高度な仕組みを活用して新しい環境技術を開発するとともに、よりよい環境を創り出すためのマネジメント手法を身につけた人材を育成します。これにより、従来の1学部4学科体制から、1学部5学科体制へと再編されます。

大学院国際環境工学研究科に環境システム専攻を設置します

環境人材の育成強化を目的として「環境システム専攻」を新設します。この専攻では、物質循環や生物システム、クリーンテクノロジーに関わる研究教育を通じて国際的に活躍できる人材を養成します。これにより、従来の1研究科2専攻体制から、1研究科3専攻体制へと再編されます。

学科定員が変わります

学部の入学定員は250名（編入学25名）に変更ありませんが、各学科の定員が下図のように変わります。また、研究科の入学定員は、博士前期（修士）課程が30名増の130名、博士後期（博士）課程が7名増の32名となります。専攻毎の定員は下図のとおりです。

平成20年度 学科再編

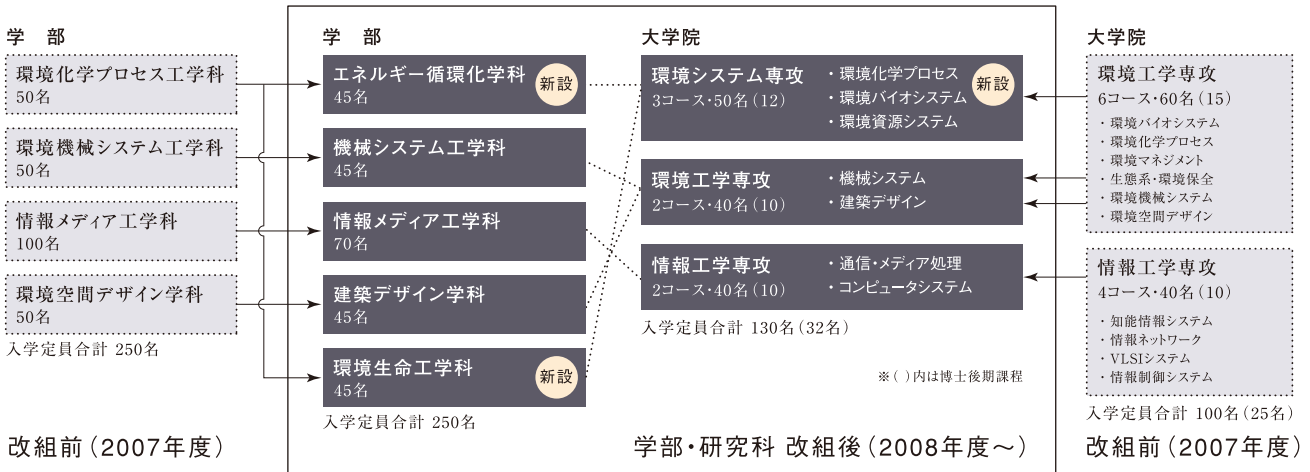
学科名称を変更します

学科の内容をより明確に表すために従来の学科名称を一部変更します。【現】「環境機械システム工学科」を【新】「機械システム工学科」に、【現】「環境空間デザイン学科」を【新】「建築デザイン学科」とします。なお、「情報メディア工学科」については名称変更はありません。

基盤教育センターひびきの分室を設置します

平成19年度、北方キャンパスに設置された基盤教育センターをひびきのキャンパスにも設置し、深い教養と豊かな人間性を育む教育を行います。

国際環境工学部・学科、大学院研究科・専攻の再編図



社会システム研究科博士前期課程を設置

平成20年度

社会システム研究科では、既存の外国語学研究科、経済学研究科、経営学研究科、人間文化研究科の修士課程を博士前期課程として統合し、社会システム研究科博士前期課程・後期課程を持つ区分制大学院へ改組、5年一貫の教育体制を構築します。博士前期課程では、地域社会に新たに生起している諸問題の教育研究を通して、学士課程よりも高度で専門的に学修し、後期課程への進学者を含め、深い洞察力と広い視野を備えた人材、及び公共的業務や企業等において高度な能力を発揮できる専門的職業人等を養成します。

社会人を積極的に受け入れるため、個別の勤務状況に応じて柔軟な開講体制を整備します。



大学院

社会システム研究科	
〈博士後期課程〉	
地域社会システム専攻	8名
〈博士前期課程〉	
現代経済専攻	8名
地域コミュニティ専攻	8名
文化・言語専攻	10名
東アジア専攻	8名
入学定員合計 34名	
〈修士課程〉	
法学研究科	10名
〈専門職学位課程〉	
マネジメント研究科	30名

学部

外国語学部
英米学科
中国語学科
国際関係学科
経済学部
経済学科
経営情報学科
文学部
比較文化学科
人間関係学科
法学部
法律学科
政策科学科

「(仮称) 地域創生学群」の新設・昼夜開講制の見直し

平成21年度

社会人・進学者の多様な学びのニーズに対応するとともに、地域コミュニティの再生と創造に貢献する人材を育成するため、新たな学部組織「(仮称) 地域創生学群」を平成21年度に設置します。

地域創生学群では、「地域」の視点から経済・政策・法律・心理・福祉・情報などの諸分野を総合的に学ぶことにより、幅広い教養と実践的な専門知識を養います。

今後、北方キャンパスにおける学部の社会人教育は地域創生学群が中心となり、これまでその役割を担ってきた文系4学部の夜間主コースは、平成21年度入試から募集を停止します。

●「地域創生学群」の概要

- ① 学生定員 / 1学年90名×4学年
- ② 主な募集対象・選抜方法 / 社会での問題意識や学びの意欲、部活動・ボランティア活動の経験などを総合的に評価する選抜試験を予定しています。
→生涯にわたる学びや継続的なキャリア形成に意欲的な社会人
→コミュニティ・地域に関心を持ちその発展に貢献したい進学者
- ③ 教育内容 / 「幅広い教養と地域の総合的理解」を基礎に、文系分野の科目を総合的に学びます(コース制を予定)。
- ④ 授業時間 / 1~7限目開講とし、昼間仕事がある社会人には夜間中心の受講でも卒業できるよう配慮します。
- ⑤ 「学群」について / 学群は、筑波大学や福島大学などで採用されている学部組織です。地域創生学群では、基盤教育センターをはじめ各センターや研究所から多様多彩な専門分野の教員が専任教員として加わり、学部の枠を超え幅広い分野を総合的に学ぶことができます。

●文系4学部夜間主コースの募集停止

2009年度(平成21年度)入試から、外国語学部・経済学部・文学部・法学部の夜間主コースの募集を停止します[2008年度(平成20年度)入試はこれまでと同様の募集を行います]。

現在夜間主コースに在学している学生及び2008年度(平成20年度)に夜間主コースに入学した学生については、地域創生学群の設置後も入学当時の学部・学科に引き続き所属し、卒業することができます。

●文系4学部昼間主コースの入学定員増

2009年度(平成21年度)入試から、外国語学部・経済学部・文学部・法学部の昼間主コースの入学定員を62人増やし、4学部合計で1,000人となります。

公立大学法人北九州市立大学平成19年度計画

主要項目について掲載（詳細は公式サイトを参照ください。）

「入試から就職までの一貫した教育システム」体系化のための枠組み・体制の整備

「入試から就職まで一貫した教育システム」を本格的にスタートさせ、「教育の北九大方式によるモデル」を確立し、より高い質の教育内容を提供するため、以下のような体系的整備を実施します。

- 昼夜開講制の見直し／社会人教育のニーズを踏まえた教育組織の設置
- 国際環境工学部学科の再編・大学院新専攻の設置
- 大学院社会システム研究科の拡充と文系修士課程の再編
- 再編後の新学科、基盤教育センターによる基盤教育（教養教育・情報教育・外国語教育）及び新カリキュラムのスタート
- 国際教育・交流の強化（新たな留学制度の導入）

学生サポートシステムの構築や（仮称）学生プラザなどの学生向け支援体制の充実

- 総合的な学生支援体制の整備
学生相談（メンタルケア含む）等の学生支援や休・退学等へのバックアップ、サークル活動支援など総合的な学生支援を行うため、ソフト・ハードの両面からなるサポートシステムを構築
- FD（ファカルティ・ディベロップメント）活動等による学生への教育内容の改善

キャリア支援の取組みの拡充

- キャリアセンターを中心とした全学的なキャリア支援への取組みの拡充
学生の就職意識の醸成を図るため、インターンシップや各種講座等、個別のきめ細かなサポート等

入試制度の改革

- A O入試を含む入試制度の見直し／社会人向け入試制度の創設
- 入試日程や入試出題、チェック、採点体制など入試業務の見直し
- 高大連携の拡充、入試広報の強化

ライフサイクルに応じた教育体制の確立と地域貢献

「団塊世代」など全世代を対象として、生涯学習・社会貢献などを強化し、地域連携の拠点としての新しい教育システムの確立などの整備を進めます。

- 専門職大学院（ビジネススクール）のスタート
- 社会人向け学士教育課程の新設
- 知的資源を活用した市民相談、市民サービスなど地域貢献システムの検討
- 公開講座の拡充
- (財)北九州産業学術推進機構と連携し、北九州学術研究都市を中心に産学連携・地域還元を推進
- 都市政策研究所における受託調査、共同研究機能等の強化
- 学生NPO団体への支援、NPO団体等との連携の拡充

経営体制の充実

理事長、学長のリーダーシップに基づく経営体制下で、教職員一体となった教育改革を進めるために、これまで整備してきた各種委員会等のあり方についても適宜見直しを行います。また、教員評価システムの見直し・検証や事務職員の研修制度の確立、若手教員の改革への積極的な参画を促す仕組みづくりなど、実効性のある機動的な大学経営体制の充実を図るとともに、広報活動についても広報センターを中心にさらに充実を図ります。

財政面では、経費の節減に努める一方、平成19年4月から授業料の改定を行うなど収入の増加を図る。あわせて、大学におけるコンプライアンスや危機管理体制・情報公開体制の確立等の経営体制を強化します。



TOPICS

平成18年度卒業生の就職状況

3月24日(土) 本学体育館兼講堂において学位授与式(卒業式)が行われました。今期卒業生の就職決定率は昨年の92.4%を上回る95.4%を記録しました。

学部別では外国語学部92.7%、経済学部96.5%、文学部96.3%、法学部93.3%、国際環境工学部99.3%となりました。昨年あたりから、景気の回復と団塊の世代の大量退職を迎えたために企業の採用意欲の高さが目立っていましたが、今年度もその傾向は続き、今期の卒業生も健闘した結果、就職決定率が上昇したと考えられます。特記すべきことは、就職決定率ではずっと男子が女子を上回っていましたが、今年度、男子94.3%(95.2%)に対し、女子96.4%(90.3%) (括弧内は昨年度実績)と逆転したことです。なにより女子学生の熱心で粘り強い就職活動の成果が前年比6.1%アップという驚異的な数字となって現れました。

あらためて、卒業生の皆さん、おめでとうございます。社会でのご活躍を期待しています。

男子学生も女子学生もお互い負けないよう頑張ってください!そして、先輩のあとに続け!

地域貢献度ランキング総合8位に

平成19年6月に日本経済新聞社が実施した日経グローバル「大学の地域貢献度ランキング」調査において、本学は総合8位にランキングされました。

調査対象は全国の国公立大学734校。調査対象となった項目は、地域貢献の体制の充実度をみる「大学の組織・制度に関する設問」、学生の地域内就職やインターンシップ実績をみる「学生に関連する設問」、産学連携や行政との連携の度合いをみる「企業・団体・行政に関連する設問」、市民・住民グループへのサービス度をみる「住民・団体に関連する設問」の4項目で、各項目の合計得点で順位付けが行われました。

本学が実施した専門職大学院マネジメント研究科(北九大ビジネススクール)の開校や公開講座の実施等の様々な地域貢献活動が評価されました。

今後も地域に根ざした貢献活動を幅広く実施していく予定です。



進路指導担当者懇談会

7/4

高等学校や予備校等の進路指導担当者の皆さまに本学学部学科の特色や入試・就職等について説明し、進路指導の参考としていただくために毎年度開催しています。

今年度は7月4日(水)に開催し、兵庫県以西の高等学校・予備校から172校218名の先生方にご参加いただきました。懇談会は2部形式で開催され、第1部の全体会では、国際環境工学部の学科再編、昼夜開講制の見直しについて説明、その後入試概要、就職状況、基盤教育センターでの取り組みなど説明しました。第2部では、学部ごとに入試の変更点の説明や学部へのご質問に対する回答など更に詳細な説明会を実施しました。

来年度も実施します。ぜひ、ご参加ください。



ガイダンス IN 鹿児島

8/4

例年志願者が多く、遠距離のため本学オープンキャンパスに参加しづらい鹿児島県において、ガイダンスIN鹿児島(出張ミニ・オープンキャンパス)を開催しています。

今年度は8月4日(土)に鹿児島市の鹿児島県市町村自治会館で開催し、90名の受験生やその保護者の皆さまにご参加いただきました。

学部説明会や模擬授業、教員による個別相談を行い、入試・就職・学生生活に関する相談コーナーも設置しました。本年度新たに設けた在学生による相談コーナーでは、勉強方法や学生生活など在校生と直接話してもらいました。知りたかったことを在校生から直接聞けるということで高校生の皆さんは熱心に質問していました。

来年度も開催します。ぜひ、ご参加ください。



学部説明会



学生による相談コーナー



オープンキャンパス2007開催

北方キャンパス

7/21・22



キャンパスツアーで高校生を案内する学生スタッフ

7月21日(土)・22日(日)の2日間の日程で開催されました。

昨年に引き続き学内インターンシップの一つとして学生スタッフを募集しました。広報グループ、学生イベント企画グループ、オペレーショングループに分かれ、企画・広報・当日運営と大活躍でした。今年度は、学部企画への提案も行い、より充実したオープンキャンパスとなるよう教員、学生、職員で一致協力し当日を迎えました。

当日は、受付会場である体育館前に開始時間よりもずいぶん早くから、たくさんの高校生が集まりました。会場では、各学部教員による学部説明会や模擬授業、なんでも相談コーナーなど多くのイベントが開催されました。本館入口付近では、職員による入試・就職・留学・学生生活・教務相談コーナーを開設しました。高校生だけでなく保護者も同席し、熱心に質問する姿が数多く見られました。

また、学生が企画したキャンパスツアー、サークル紹介、パネルディスカッション、学生による相談コーナー、写真・映像展示、キャリアデザイン模擬授業も実施しました。キャンパスツアーは、学生自身が、高校生を連れて学内を案内するというもので、学内を見学しながら直接学生に勉強方法や学生生活について聞くことができ、高校生からは大好評でした。

2日間で、約3,200人も参加者があり、学内はたくさんの高校生で終日賑わいました。



在学生、教員による「何でも相談コーナー」



学部教員による模擬授業

ひびきのキャンパス

7/15

台風4号の影響で7月14日(土)が中止となり15日(日)の1日だけの開催となりました。

来年度、学科等の新設・再編成のため開催に向けて気合いの入っていた教員や学生たちはガッカリ。

しかし、そんな思いを吹き飛ばすかのように15日(日)は、悪天候のなか1日の来場者として過去最高の300人ほどの高校生や保護者が来学し、会場は熱気に包まれました。予想外の来場者に用意していた資料が足りなくなるハプニングも。

会場では、各学科紹介や入学試験の説明を行う学部説明会、各学科が趣向をこらした実験などを巡回するイベントツアーを実施。目の前で繰り広げられるさまざまな不思議に科学の面白さを堪能していました。その他、新設学科をより深く知ってもらうための模擬授業や入試相談なども行いました。内容盛りだくさんのため全部を見て回れずくやがる高校生もいました。



イベントツアー「超低渦世界の体験」

また、今年度から始まった学生による学生企画イベントは、高校生たちの質問に何でも答える「ザ まるやか 相談」や入試やキャンパスライフなどについて学生4人がトークを繰り広げる「パネルディスカッション」など充実した内容で高校生のハートをしっかりキャッチしていました。

また、今年度から始まった学生による学生企画イベントは、高校生たちの質問に何でも答える「ザ まるやか 相談」や入試やキャンパスライフなどについて学生4人がトークを繰り広げる「パネルディスカッション」など充実した内容で高校生のハートをしっかりキャッチしていました。

参加した高校生からは、「先生や先輩方がとても親切でうれしかった」、「ぜひ、入学したくなった」というような声が多く聞かれました。



イベントツアー「燃料電池で電気をつくろう」

TOPICS

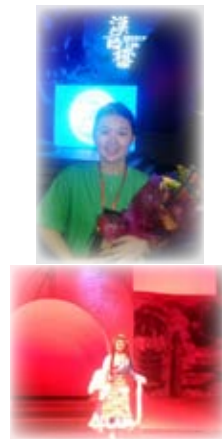
話題の学生
話題のサークル

活躍する北九大生たち

今、一番輝いている学生たちを紹介します。

第六回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト 最佳文采賞
二〇〇七年度「五星獎」全西日本大学生中国語コンテスト
スピーチの部優勝

磯野紗希さん
外国語学部外国語学科
中国語専攻3年
(中国語言語文化研究会)



平成十九年八月三日(金)〜六日(月)に、中華人民共和国吉林省長春市において、第六回「漢語橋」世界大学生中国語コンテストが開催されました。今回、参加した選手は五十二万国百二人で、コンテストのテーマは「オリンピックを迎える中国」です。本大会は二〇〇二年の開始以来五〇万国余りから合計三万人以上が参加、うち三八一人が中国で行なわれる本選に駒を進めています。その世界大会へ今回、磯野紗希さんが、日本(九州・山口地区)代表として出場し入賞しました。

今回、「漢語橋」に参加して得た世界各国の大学生たちと過ごした時間は、私にとって一生の思い出となりました。それぞれが生活習慣も母国語も全く違う国から来ていて、皆が一同に中国語を使ってコミュニケーションをとっているという環境は、私にとって非常に刺激的なものであり学ぶことも大変多かったですし、また各国の大学生と交流する事で、彼らの国の歴史や文化などについても知識を深める事が出来ました。この大会は年々盛り上がりを見せていて、出場選手のレベルもどんどん上がってきている中で、こうして入賞させていただけただけを本当に嬉しく思っています。大会直前まで熱心にご指導してくださった先生方にも感謝の気持ちでいっぱいですが、この大会で得た多くの成果をしっかりと生かしていけるよう、これからも精一杯頑張りたいと思っています。



第二回「ヘラルド朝日英語論文コンテスト」
大学院生 安東さんが奨励賞受賞
北九州市立大へ感謝状授与

安東和子さん
大学院外国語学研究所



朝日新聞が発行する英字紙「ヘラルド朝日」主催の第二回英語論文コンテストにおいて、本学大学院外国語学研究所の安東和子さんが奨励賞を受賞。また、本学教員らの積極的な学生への呼びかけ、それに応じての多数の応募をした本学と西南学院大学に対して感謝状が贈られた。

このコンテストは、大学生、院生、短大生を対象に、国籍は問わず、「二十年後の私」「地球温暖化対策」「メディアの活用」という三つの課題からひとつを選んで英語八〇〇単語、まとめるもの。

六七〇件の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞5点、奨励賞1点が選ばれた。安東さんは今回、「二十年後の私」に応募し、奨励賞を受けた。

作品の中で、国外の人と交流することで英語を学ぶ場をもっと増やしていきたいと書いている。安東さんは、英語教師を退職後、本学外国語学研究所修士課程で学んでいる。

北九州市立大学ラグビー部 創部六十周年記念祝賀会

梶栗義宏さん
法学部政策科学科4年
(ラグビー部主将)



平成一九年八月二十五日(土)、「北九州市立大学ラグビー部創部六十周年記念祝賀会」が開催されました。戦後間もない昭和二十二年の暮れ創部したラグビー部。爾来六十年、昭和二十年代後半から三十年代徐々にその存在を示し、昭和四十年代は二回に互り九州代表として名古屋の全国大会に連続出場、一度は準優勝の実績を残しました。近年は九州地区大学の11部で活躍、現在三回目の全国大会への出場、九州地区1部への復帰を目標に現役三十名とOB三百名が一体となって懸命の努力で取り組んでおります。

今年でこの北九州市立大学ラグビー部が創部六十周年という節目の年に主将に就けたことを光栄に思っています。この六十年という長い伝統と多くのOBの人達によって現役が支えられていることを真摯に受け止め、六十周年という節目に1部復帰を目指して現役一同、日々練習に打ち込みたいと思います。これからも北九州市立大学ラグビー部の発展、またOB・保護者の方々のご支援・ご声援のほどよろしくお願い致します。



北九州市立大学柔道部
『ちびっ子ふれ合い柔道教室』開催

平瀬聡さん
法学部法律学科4年
(柔道部主将)



柔道を通じて子ども達の心身の育成を図り、また北九州市立大学をより身近に感じてもらうため、八月二十日(月)に「ちびっ子ふれ合い柔道教室」が開催されました。我われ柔道部員十二名も、受講生三十八名(市内の小学生以下)と一緒に楽しく汗を流しました。

阿南惟正理事長から「柔道を通して、礼儀正しさや友情を大切にすることを身につけて欲しい」とメッセージをいただいた。柔道部員も「柔道に対する心構えを再認識したところです。講師には全日本柔道選手権(95kg級)ベスト8の秋山勝彦氏や全日本女子柔道選抜体重別選手権優勝の秋山守美氏を招き、準備運動や技の紹介、技のかけ方等分りやすく説明していただきました。

受講生の子もからは「今日の練習を生かして今後の大会で優勝したい」「楽しかった」等の声が寄せられ、今回の講座をやって良かったと感じています。今後、地域の子ともっと柔道を通じて触れ合っていければと考えています。



お知らせ

■学生プラザ工事について

本学では、「入試から就職まで一貫した教育システムの構築」を目指し、教育の質を向上させるための改革を進めています。

なかでも、学生支援の強化は改革の柱に位置づけられ、修学面、生活面、経済面、健康面などにおいて、さまざまな問題を抱える学生や就職活動を行う学生を全学的に支援するため、ソフト、ハードの両面からなる総合的な学生サポートシステムを構築しています。

その一環として、学生相談・メンタルケア・キャリア支援など、学生支援を担当する組織と空間を統合した「学生プラザ」を整備します。現在、本館1階玄関横のメインスペースにあるキャリアセンターと学生相談室を拡張、機能強化させるため改修工事に着手しており、10月1日から新たに「学生プラザ」としてオープンします。



現在、工事中の「学生プラザ」

■保健室からののお知らせ

今年の夏は各地で観測史上最高気温を記録し、日射病や熱中症の被害が相次いでいますが、皆さんの体調はいかがでしょう。

さて、既に報道等でご存知だと思いますが、5月から6月にかけて、全国的にはしかが流行し、各地の大学で休講が相次ぎました。本学でも数名、はしかの発症が報告されています。はしかの症状としては、感染後1～2週間（潜伏期間）で発熱・結膜充血などが現れます。一旦解熱しますが、再び熱が上昇し高熱が数日間続き、完治するまで10日～2週間程度かかります。また感染力が非常に強いことも特徴です。

過去に、はしかに罹ったことがある方や予防接種を2回受けた方は感染の恐れが極めて低いと言われていますが、まれに感染することもありますので、ご心配な方は病院で抗体検査を受けられることをお勧めします。

来年は今年のような流行がないことを願うばかりです。



7号館にある保健室



お知らせ

人事異動

学部長等		19.4.1付
文学部長	赤塚 正幸	
大学院マネジメント研究科長	齋藤 貞之 (経済学部から異動)	
外国語学部英米学科長	木原 謙一 (文学部から異動)	
外国語学部中国学科長	王 占華	
法学部政策科学科長	植原 真二	

採用		19.4.1付
外国語学部	中国学科	准教授 白石 麻保
外国語学部	中国学科	准教授 西 香織
経済学部	経営情報学科	講師 齋藤 朗宏
法学部	法律学科	准教授 恩地 紀代子
法学部	法律学科	講師 大杉 一之
法学部	法律学科	講師 國武 英生
法学部	法律学科	講師 福本 忍
法学部	政策科学科	講師 横山 麻季子
国際環境工学部	環境機械システム工学科	教授 山本 郁夫
国際環境工学部	環境空間デザイン学科	講師 城戸 将江
国際環境工学研究科		教授 伊藤 洋
国際環境工学研究科		准教授 加藤 尊秋
マネジメント研究科		教授 永津 美裕
マネジメント研究科		教授 林 秀美
マネジメント研究科		教授 丸田 秀一
マネジメント研究科		教授 宮下 永
都市政策研究所		准教授 南 博
基盤教育センター		准教授 葛西 宏信
基盤教育センター		講師 Danny Minn
基盤教育センター		講師 Duncan S Wotley
基盤教育センター		講師 永末 康介
基盤教育センター		助教 浅羽 修丈
特命教授		中溝 幸夫
特命教授		乗口 眞一郎

異動		19.4.1付
外国語学部 英米学科	教授	伊藤 健一 (文学部から)
外国語学部 英米学科	教授	木下 善貞 (文学部から)
外国語学部 英米学科	教授	野島 啓一 (文学部から)
外国語学部 英米学科	教授	山崎 和夫 (文学部から)
外国語学部 英米学科	准教授	Daniel C. Strack (文学部から)
外国語学部 国際関係学科	教授	田村 慶子 (法学部から)
外国語学部 国際関係学科	教授	久木 尚志 (学科異動)
外国語学部 国際関係学科	教授	尹 明憲 (都市政策研究所から)
外国語学部 中国学科	准教授	山本 進 (経済学部から)
文学部 比較文化学科	教授	岡住 正秀 (基盤教育センターから)
文学部 比較文化学科	教授	芳之内 雄二 (外国語学部から)
文学部 比較文化学科	准教授	寺田 由美 (外国語学部から)
基盤教育センター	教授	稲山 正 (外国語学部から)
基盤教育センター	教授	亀山 徳彦 (文学部から)
基盤教育センター	教授	神崎 尚士 (外国語学部から)
基盤教育センター	教授	小林 道彦 (法学部から)
基盤教育センター	教授	徳永 政夫 (文学部から)
基盤教育センター	准教授	伊藤 晃 (外国語学部から)
基盤教育センター	准教授	杉山 智子 (外国語学部から)
基盤教育センター	准教授	渡邊 嘉則 (外国語学部から)
マネジメント研究科	教授	王 效平 (経済学部から)
マネジメント研究科	教授	北 真収 (経済学部から)
マネジメント研究科	教授	越出 均 (経済学部から)
マネジメント研究科	教授	任 章 (経済学部から)
マネジメント研究科	准教授	城戸 宏史 (経済学部から)
マネジメント研究科	准教授	武田 寛 (経済学部から)

昇任		19.4.1付
教授昇任		
外国語学部	国際関係学科	教授 尹 明憲 (都市政策研究所から異動)
経済学部	経済学科	教授 田村 大樹
経済学部	経営情報学科	教授 平山 克己
国際環境工学部	環境機械システム工学科	教授 泉 政明
国際環境工学部	環境化学プロセス工学科	教授 上江洲 一也
国際環境工学部	環境化学プロセス工学科	教授 黎 暁紅
国際環境工学部	環境空間デザイン学科	教授 高 偉俊
国際環境工学部	環境空間デザイン学科	教授 福田 展淳
基盤教育センター		教授 重信 幸彦
都市政策研究所		教授 伊藤 解子
准教授昇任		
外国語学部	国際関係学科	准教授 山本 直
法学部	政策科学科	准教授 狹間 直樹
法学部	政策科学科	准教授 森 裕亮
基盤教育センター		准教授 David Adam Stott
都市政策研究所		准教授 内田 晃
都市政策研究所		准教授 片岡 寛之

退職		19.7.31付
経済学部 経済学科		准教授 友原 章典

事務局		19.4.1付
事務局副局長	尾上 一夫	
事務局次長	本村 哲也	
事務局主幹	柳澤 規文	
学生相談室長	生田 カツ工	
学術情報課長	江上 照明	
管理課長	大谷 俊介	
経営企画課主査	木下 武	
総務課経理係長	大庭 徳治	
学生相談室相談係長	立石 雄二	
教務課教務第一係長	正平 剛	
教務課主査	滝 徹二	
教務課入学試験係長	松中 慎一	
学術情報課情報システム係長	櫻木 正典	
管理課主査	村上 祥治郎	
管理課主査	本田 和彦	
管理課主査	川崎 俊明	
総務課	林 恵美	
学生課	松岡 桂次郎	
教務課	宇都宮 未生	
教務課	林 金太郎	
教務課	白石 智也	
19.4.25付		
経営企画課	飯田 真子	
総務課	川原 大史	
総務課	大塚 敦子	
学生課	久保 知典	
学生課	山西 宗弘	
学生相談室	吉田 剛	
教務課	森田 大志	
管理課	森川 正仁	
管理課	小嶋 謙之	
管理課	井手 美由紀	



会議等

役員会・経営審議会

平成19年3月13日(火)

[議案]

- 1 平成19年度計画案について
- 2 平成19年度予算案について

教育研究審議会

第47回 平成19年3月6日(火)

[議案]

- 1 教員の採用・退職について
- 2 平成19年度教育研究審議会の構成について
- 3 利益相反委員会の設置について
- 4 奨学寄附金の活用について
- 5 学友会交渉申入書に対する回答について
- 6 規程等の改正について
- 7 出版助成、研修制度等の運用改善について
- 8 科学研究費補助金への申請の推進と外部資金獲得への優遇措置について
- 9 教員組織のあり方について
- 10 各種委員会の構成について

第48回 平成19年3月7日(水)

[議案]

- 1 教員の昇任について
- 2 教員の採用について
- 3 平成19年度計画について

第49回 平成19年3月27日(火)

[議案]

- 1 教員の採用について
- 2 規程等の改正について
- 3 出版助成、研修制度等の運用改善について
- 4 科学研究費補助金への申請の推進と外部資金獲得への優遇措置について
- 5 学友会交渉申入書に対する回答について
- 6 利益相反ポリシーについて
- 7 基盤教育センターひびきの分室の設置について
- 8 各種委員会の構成について

第50回 平成19年4月10日(火)

[議案]

- 1 教員の採用等について
- 2 再任審査委員会の設置について

第51回 平成19年4月24日(火)

[議案]

- 1 教員の採用について
- 2 平成19年度新任教員研修実施計画について

平成19年6月12日(火)

[議案]

- 1 学部学科等の再編について
 - (1) 社会システム研究科の再編
 - (2) 国際環境工学部学科再編・同研究科新専攻設置
 - (3) 昼夜開講制の見直しと(仮称)地域創生学群の設置
- 2 平成18年度計画に係る自己点検・評価報告書
- 3 平成18年度財務諸表、決算報告及び事業報告

第52回 平成19年5月22日(火)

[議案]

- 1 教員の採用等について
- 2 平成18年度計画に係る自己点検・評価について
- 3 学部学科等再編について
 - (1) 社会システム研究科の拡充及び文系修士課程の再編
 - (2) 国際環境工学研究科新専攻の設置及び同学部学科再編
 - (3) 昼夜開講制の見直し及び学群の設置

第53回 平成19年6月5日(火)

[議案]

- 1 教員の人事について
- 2 平成18年度計画に係る自己点検・評価について
- 3 学部学科等再編について
 - (1) 社会システム研究科の拡充及び文系修士課程の再編
 - (2) 国際環境工学研究科新専攻の設置及び同学部学科再編
 - (3) 昼夜開講制の見直し及び学群の設置

第54回 平成19年6月26日(火)

[議案]

- 1 名誉教授の称号授与について
- 2 教員の採用について
- 3 地域創生学群設置準備委員会の設置について
- 4 国際環境工学部新学科設置準備委員会の設置について
- 5 基盤教育センター分室設置準備委員会の設置について
- 6 学生サポート委員会の設置について

第55回 平成19年7月10日(火)

[議案]

- 1 教員の採用について

第56回 平成19年8月8日(水)

[議案]

- 1 教員の採用について

お勧めの本

「女性の品格」(著者/坂東眞理子)

この書は、入学式で阿南理事長から学生に薦めたい一冊として紹介されました。

「品格」という高邁なテーマだと構えて読まず、人としてどのような姿勢で毎日を通すか、という素直な心で読めば、おそらくは多くの方が納得できる内容が含まれていると思います。

特に目新しい発想があるわけではありませぬ。しかし一つ一つは当たり前のこととは言え、なかなか日頃実践できていない内容ばかりです。批評したり分析するつもりで読んだり、何か新しいことを学習するために読むというよりは、あらためて自分を省みるつもりで素直な気持ちで読むと良いのではないのでしょうか。

この本は、女性に焦点をあて、暖かさや包容力を持ちながら、毅然とした自律的態度を具えることも大切だという観点から、具体的なケースを読みやすい口調で記しています。世代や立場によって興味は異なりますので、自分の関心のある部分だけを読んでも良いと思います。

女性を念頭に書かれているとはいえ、その内容は「人としてこうありたい」というものであり、男性にも当てはまる部分が始です。従って、女性だけでなく、男性にも是非読んでいただきたいと思えます。

(学生課長 田島裕美)





毎月第3水曜日に本館7階ラウンジで研究交流会『北方サロン』を開催しています。

第11回は、文学部の岩松文代先生と錦織亮介先生に、第12回では基盤教育センターの永末康介先生とステファニー・ホートン先生に、第13回では文学部の八百啓介先生と寺田由美先生に、第14回では、文学部の須藤廣先生と都市政策研究所の片岡寛之先生に話題提供していただきました。

毎回、14～15名程度の先生方が参加され、話題提供後に行われるディスカッションでは、毎回、研究分野を越えてさまざまな意見が交わされています。

今後とも多くの先生方のご参加をお待ちしております。

次回(第15回) 開催は
10月です。



第11回 4/18
コーディネーター：横山宏章 (社会システム研究科)
話題提供者：岩松文代 (文学部)
「大連生活と日本語指導のなかで見た日本文化」
：錦織亮介 (文学部)
「日本人と肖像画」

第12回 5/23
コーディネーター：杉山智子 (基盤教育センター)
話題提供者：永末康介 (基盤教育センター)
「違いから学ぶ
～日英語比較を通して～」
：ステファニー・ホートン (基盤教育センター)
「Intercultural Language Education
:Value Change and Harmony」

第13回 6/20
コーディネーター：小林道彦 (基盤教育センター)
話題提供者：八百啓介 (文学部)
「大学・博物館・行政-三位一体
の地域貢献としての文化資源開発」
：寺田由美 (文学部)
「歴史はおもしろい」

第14回 7/18
コーディネーター：植原真二 (法学部)
話題提供者：須藤廣 (文学部)
「観光幻想と観光地住民のリアリティ」
：片岡寛之 (都市政策研究所)
「都市のイメージに関する比較調査を振り返って」



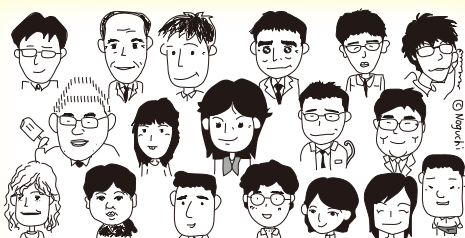
学生課

「学生生活を側面から支援する
黒子のような存在」

「ここがぁ、学生課でえ、え～、落し物したりした時に来ます。」
オープンキャンパスの際に、学生スタッフが高校生に対してこのように説明していました。学生スタッフの内に顔見知りの学生がいたので「学生課は落し物以外でもいろいろと紹介することがあるんじゃないの?」と冷やかすと、言葉に詰まっていました。あなたたちの奨学金等の生活支援に関することや自主活動や就職活動を支援しているのは誰ですかぁ?

私達学生課は学生の皆さんが快適な勉学環境を維持し、有意義な学生生活を行うことが出来るように日々配慮するところです。当たり前のことを当たり前できるように。学生生活を側面から支援するセクションです。黒子のような役割ですので、上記の学生さんのリアクションは至極当然であるかのように思うわけですが、一抹の寂しさを感じるもの事実です。毎日のように相談に来ている学生さんに言われれば、なお落ち込みます。

皆さん、私達はここにいます。サークルに入っていない人、奨学金をもらっていない人、休講掲示板以外にも学生課掲示板を見ましょう。もしかしたら、いいこと書いているかもしれませんよ。



学生相談室

「気軽に相談できる場所」

学生相談室は、今年度新たに誕生した部署です。事務職員、臨床心理士(カウンセラー)、保健師など総勢9名と学生サポート委員(教員)とで健康や休退学に関することなど学生生活に必要な様々な相談に応じています。人だけでなく、猫や鳥についての相談を受けることも……。

学生相談室では、学生の皆さんがより良い大学生活を送れるように、毎日頑張っています。何か悩んでいることや不安なことがあれば気軽に学生相談室を利用してください。9月末までは7号館2Fで、10月からは本館1Fの学生プラザでお待ちしています。

(今後、アルコールパッチテストや骨密度検査、栄養相談、人との上手なかかわり方(動作法)など、皆様の健康に関わるイベントを行う予定です。是非参加してくださいね。)





北九州市立大学 平成19年度入試結果について

平成19年度入学試験(一般選抜試験)の結果をお知らせします。

学部	学科	募集人員		志願	受験	当初		追加		合格者計	入学者計	実質倍率*	合格者成績*2				
						合格	入学	合格	入学				配点	合格平均	合格最高点	合格最低点	
外国語学部	英米学科	前期	72	286	263	96	78			96	78	2.7	1,000	721.9	824.8	667.8	
		後期	10	192	67	10	7			10	7	6.7	700	574.1	592.4	560.6	
	中国学科	前期	40	128	122	56	47			56	47	2.2	1,000	630.3	700.8	587.0	
		後期	5	103	40	9	8			9	8	4.4	600	427.5	457.3	409.1	
	国際関係学科	前期	50	136	120	64	51			64	51	1.9	1,100	775.1	875.2	719.2	
		後期	10	69	30	12	9			12	9	2.5	1,200	883.5	980.8	827.6	
昼間主コース	経済学部	経済学科	前期	(4教科型) 35	168	154	44	38			44	38	3.5	800	565.7	613.0	535.2
			(3教科型) 25	130	114	40	25			40	25	2.9	700	495.0	552.4	456.2	
		後期	10	231	110	14	12			14	12	7.9	400	286.8	298.6	273.8	
	経営情報学科	前期	(4教科型) 35	93	88	45	36			45	36	2.0	800	561.6	612.0	527.0	
		(3教科型) 25	85	74	40	23			40	23	1.9	700	497.0	552.6	462.2		
		後期	10	192	80	15	14			15	14	5.3	400	272.2	298.2	258.6	
文学部	比較文化学科	前期	70	281	264	96	64			96	64	2.8	700	489.3	540.2	465.8	
		後期	10	237	98	13	7	1	1	14	8	7.0	700	530.1	582.2	507.0	
	人間関係学科	前期	35	137	127	43	34			43	34	3.0	700	500.7	552.8	487.8	
後期		10	120	66	15	12			15	12	4.4	700	534.7	562.4	507.2		
法学部	法律学科	前期	100	362	325	136	108			136	108	2.4	900	630.8	719.6	594.4	
		後期	15	197	61	22	18			22	18	2.8	800	601.1	674.0	560.4	
	政策科学科	前期	35	107	97	49	37			49	37	2.0	900	626.6	680.8	585.4	
		後期	10	100	37	17	12			17	12	2.2	800	595.0	628.2	567.0	
小計			612	3,354	2,337	836	640	1	1	837	641	2.8					
夜間主コース	外国語学部	英米学科	前期	15	53	49	20	19			20	19	2.5	1,000	614.1	689.8	561.8
		中国学科	前期	7	64	61	13	3	4	4	17	7	3.6	1,000	586.6	673.8	539.6
		国際関係学科	前期	7	33	32	16	11			16	11	2.0	1,100	696.3	759.0	649.2
	経済学部	経済学科	前期	5	43	41	8	6			8	6	5.1	700	465.5	519.8	442.0
		経営情報学科	前期	5	36	33	8	4	1	1	9	5	3.7	700	496.7	575.4	465.4
	文学部	比較文化学科	前期	8	45	44	12	10			12	10	3.7	700	457.7	484.8	433.4
		人間関係学科	前期	5	26	25	7	5			7	5	3.6	700	442.9	452.6	435.2
	法学部	法律学科	前期	11	46	44	15	14			15	14	2.9	900	602.4	651.6	582.0
		政策科学科	前期	6	33	31	9	9			9	9	3.4	900	574.2	607.4	538.8
	小計			69	379	360	108	81	5	5	113	86	3.2				
国際環境工学部	環境化学プロセス工学科	前期	20	33	31	24	22			24	22	1.3	1,200	620.2	745.2	530.4	
		後期	10	121	53	22	16			22	16	2.4	1,000	657.6	730.4	604.2	
	環境機械システム工学科	前期	20	46	46	31	30			31	30	1.5	1,200	654.6	734.2	597.1	
		後期	10	100	40	14	10	2	2	16	12	2.5	1,000	557.2	641.6	481.6	
	情報メディア工学科	前期	50	128	121	68	63			68	63	1.8	1,200	636.4	796.5	572.1	
		後期	25	232	108	29	22	3	3	32	25	3.4	1,000	530.6	620.8	475.4	
環境空間デザイン学科	前期	20	69	63	30	28			30	28	2.1	1,200	717.1	825.2	662.5		
	後期	10	121	47	16	10	1	1	17	11	2.8	1,000	663.6	748.4	621.4		
小計			165	850	509	234	201	6	6	240	207	2.1					
総合計			846	4,583	3,206	1,178	922	12	12	1,190	934	2.7					

*1: 実質倍率=受験者数÷合格者数 *2: 配点、合格平均点、合格最高点、合格最低点はセンター試験と個別試験の合計点

◎出張講義、高校訪問、大学訪問についてのお問い合わせは、大学事務局経営企画課 (Tel 093-964-4195) までお願いします。

